



2023年10月24日

各 位

東京都渋谷区渋谷二丁目15番1号
株式会社ソフトクリエイトホールディングス
代表取締役会長 林 勝
(コード番号：3371 東証プライム市場)
問合せ先：取締役常務執行役員 佐藤 淳
電話番号：03-3486-0606 (代表)
(URL <https://www.softcreate-holdings.co.jp/>)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2023年5月10日に公表いたしました2024年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想、2024年3月期の配当予想を修正（増額）いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2023年4月1日～2023年9月30日）

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	13,150	2,180	2,270	1,339	53.44
今回修正予想 (B)	13,852	2,691	2,852	1,654	66.02
増減額 (B-A)	702	511	582	315	
増減率 (%)	5.3	23.4	25.7	23.6	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2023年3月期第2四半期)	11,554	2,021	2,138	1,260	99.55

(2) 2024年3月期通期連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	27,000	4,850	5,000	2,950	117.74
今回修正予想 (B)	27,702	5,079	5,300	3,100	123.52
増減額 (B-A)	702	229	300	150	
増減率 (%)	2.6	4.7	6.0	5.1	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	24,253	4,322	4,489	2,738	108.68

(修正の理由)

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)においては、企業のEビジネス需要の高まりや、IoT、AIを活用したITサービスの進展、クラウドサービスやセキュリティ対策、RPA等のデジタル変革(DX)推進に向けた需要を軸に企業等のIT投資は拡大基調が継続しております。

このような状況の中で、当社グループは国内市場シェアNo.1のECサイト構築プラットフォーム「e c b e i n g」の販売及び売上拡大施策となるマイクロサービス(SaaS型)を提供しております。また、企業のデジタル変革(DX)推進や生産性向上のための企業内情報システムサービス「SCクラウド」、「X-p o i n tクラウド」の提供を推進したことにより、ECソリューション事業及びITソリューション事業が想定以上に拡大し前回予想を上回る見込みです。

通期連結業績(2023年4月1日～2024年3月31日)につきましては、当第2四半期連結累計期間が増収増益の見込みであることや、将来の成長に向けた広告宣伝費・採用費・研究開発投資等を勘案し、売上高、営業利益及び経常利益並びに親会社株主に帰属する当期純利益についても前回予想を上回る見込みです。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2023年5月10日発表)	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 30.00
今回修正予想	—	24.00	—	24.00	48.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2023年3月期)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 2023年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「前期実績 第2四半期末」及び「前期実績 期末」を算定しております。

(修正の理由)

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題のひとつと位置付けております。剰余金の配当につきましては、経営体質の強化と将来のグループ全体としての事業展開を考慮しつつ、株主の皆様へ安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としております。

第2四半期末の中間配当予想につきましては、前回予想の1株当たり15円に対し9円増の24円とし、期末配当につきましては前回予想の1株当たり15円に対し9円増の24円とし、年間配当予想1株当たり48円に修正することといたしました。これにより配当性向は38.9%となります。今後についても、これまで配当性向の目標を30%程度から40%程度に引き上げることといたします。

なお、経済動向の先行きが極めて不透明な状況ではありますが、当社といたしましては、収益力の状況や財務健全性等も勘案しつつ、株主の皆様への利益還元についても十分な配慮を行う方針であります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上